

### ③ 伝統的に食されてきた島野菜を食べる機会

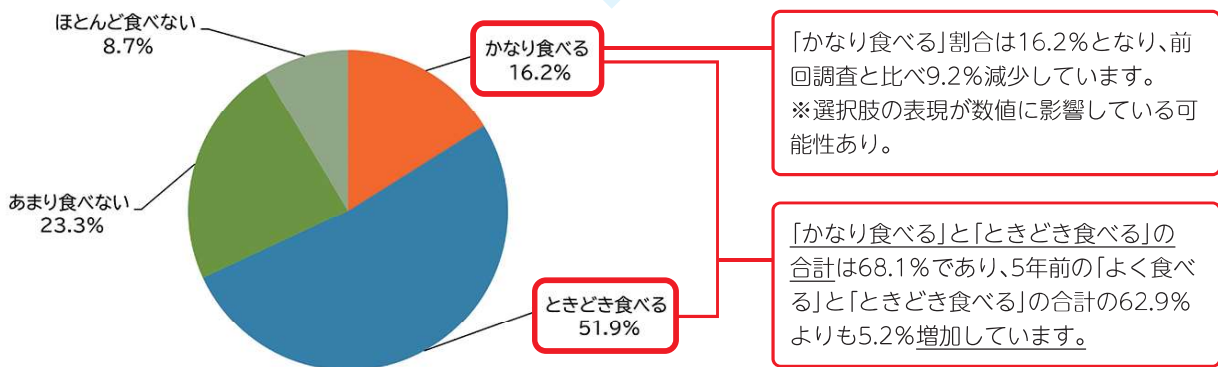
成果指標の一つである「島野菜をよく食べる人の割合」に対応する「かなり食べる」人の割合は16.2%となり、5年前と比べ9.2%減少しました。

ただし、今回の調査の「かなり食べる」に対応する前回調査の選択肢は「よく食べる」となっており、選択肢の表現が数値に影響していることも推測されます。

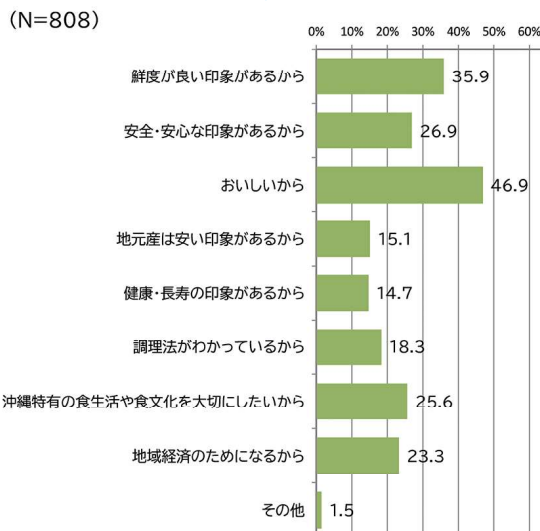
今回の調査の「かなり食べる」と「ときどき食べる」の合計は68.1%であり、5年前の「よく食べる」と「ときどき食べる」の合計の62.9%よりも5.2%増加しています。

そのことから、島野菜が県民にとって広がりを見せているものの、頻繁に食べるまで身近なものにはなっていない状況であると思われます。

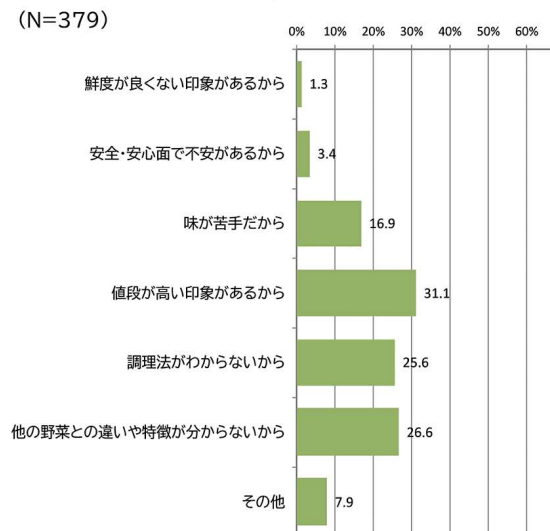
**Q** あなたは、ふだんから沖縄県で伝統的に食されてきた農産物（島野菜のみ）を食べる機会が多いですか（N=1187）



**Q** 沖縄県で伝統的に食されてきた農産物（島野菜のみ）を食べることが多い理由はなんですか（複数回答可）



**Q** 沖縄県で伝統的に食されてきた農産物（島野菜のみ）を食べないことが多い理由はなんですか（複数回答可）



## 第2章 沖縄県における地産地消の現状

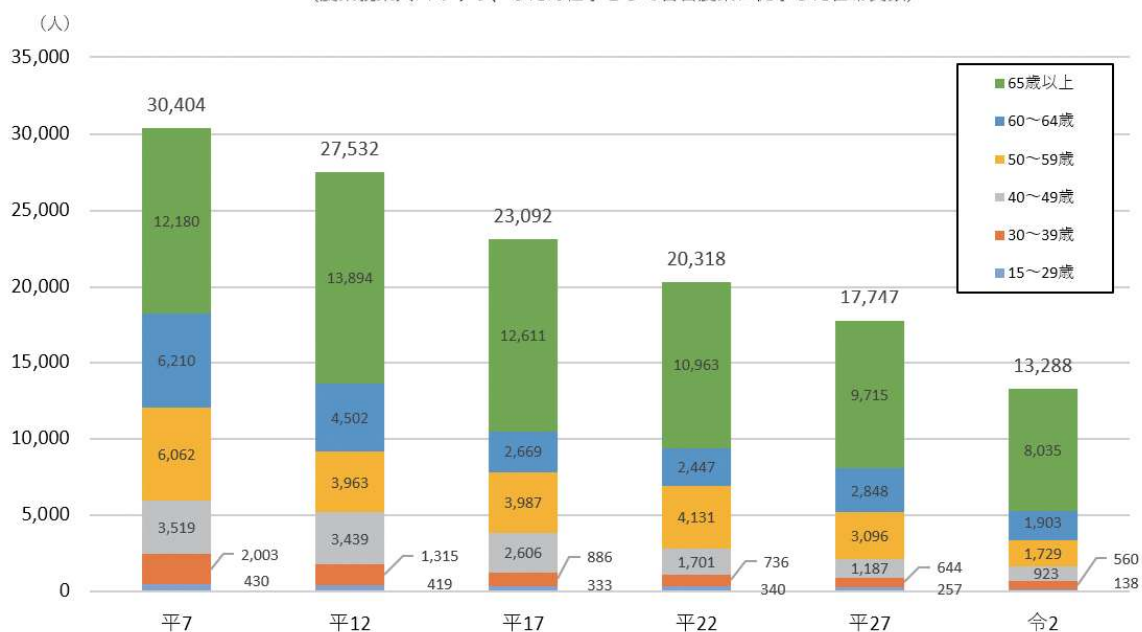
### (2) 生産者の現状

農業従事者のうち普段より仕事として農業に従事する基幹的農業従事者数は、平成7年以降減少を続けており令和2年においては13,288人となり、平成7年からの25年間で半数以下に減少しています。

農業所得については、増減があるものの平成30年においては、86.7百万円となり全国平均と差が開きつつあります。

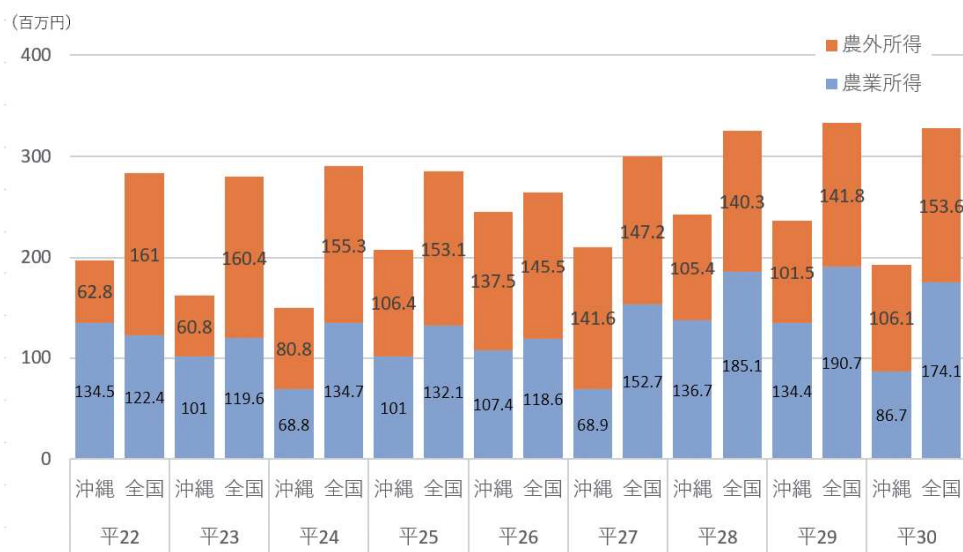
#### 【 年齢別基幹的農業従事者 】

(農業就業人口のうち、ふだん仕事として自営農業に従事した世帯員数)



資料：農林水産省「農業センサス」

#### 【 農業経営体の収支(全国との比較) 】



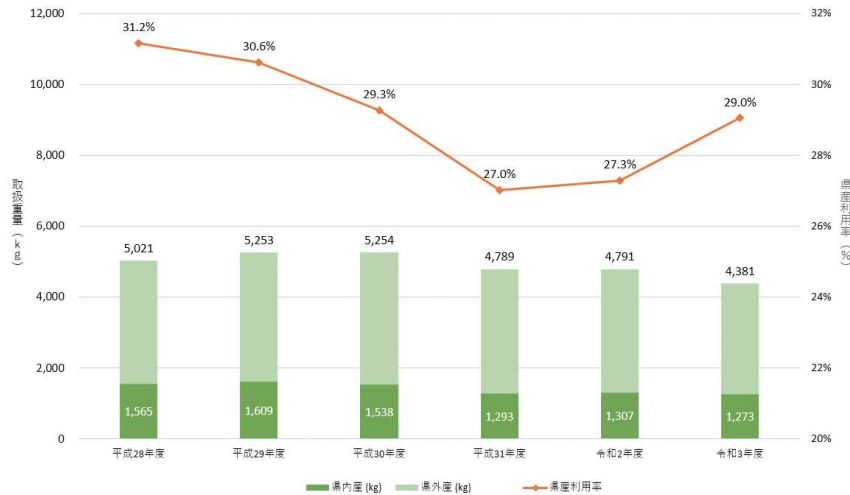
資料：農林水産省「農業経営統計 経営形態別経営統計」

### (3) 学校給食の現状

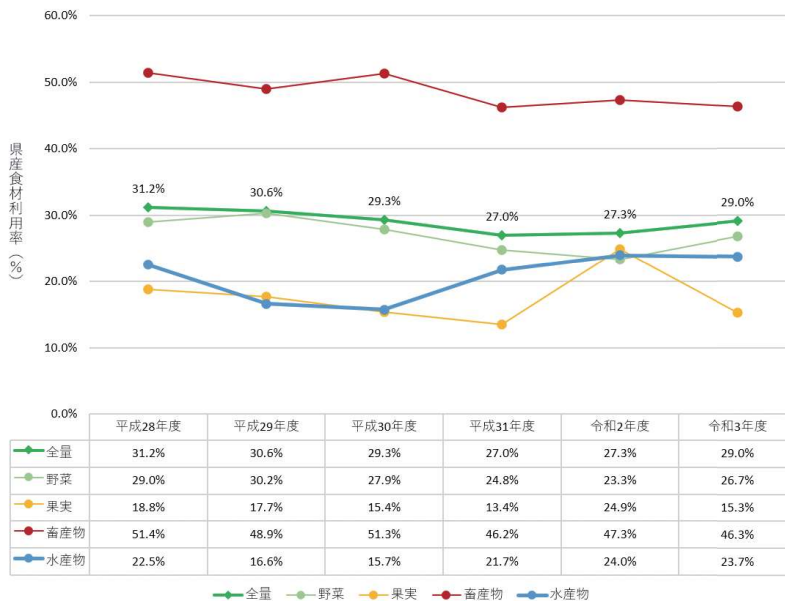
学校給食で使用される食材に占める県産食材の利用率は、平成24年度の34.0%をピークに以降ゆるやかに減少を続け、平成31年度に27.0%（重量ベース）となりました。令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で取引量減少が懸念された県産食材の沖縄県等による学校給食への無償提供や、従来は観光・飲食業等へ出荷されていた食材が比較的安価で出回り入手しやすくなったことも影響していると思われ、29.0%に回復しました。

品目別では、畜産物の利用率が減少を続けていましたが、平成31年度に下げ止まり、ほかの品目と同じくほぼ横ばいで推移しています（令和2年度の果実の増加は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で売り先を失ったマンゴーなど、さまざまな県産の果実が比較的安価で購入できたこと等によるものと思われる）。

【 学校給食における農林水産物の県産利用率(重量ベース)及び総量の推移 】



【 学校給食における県産利用率の品目別推移 】

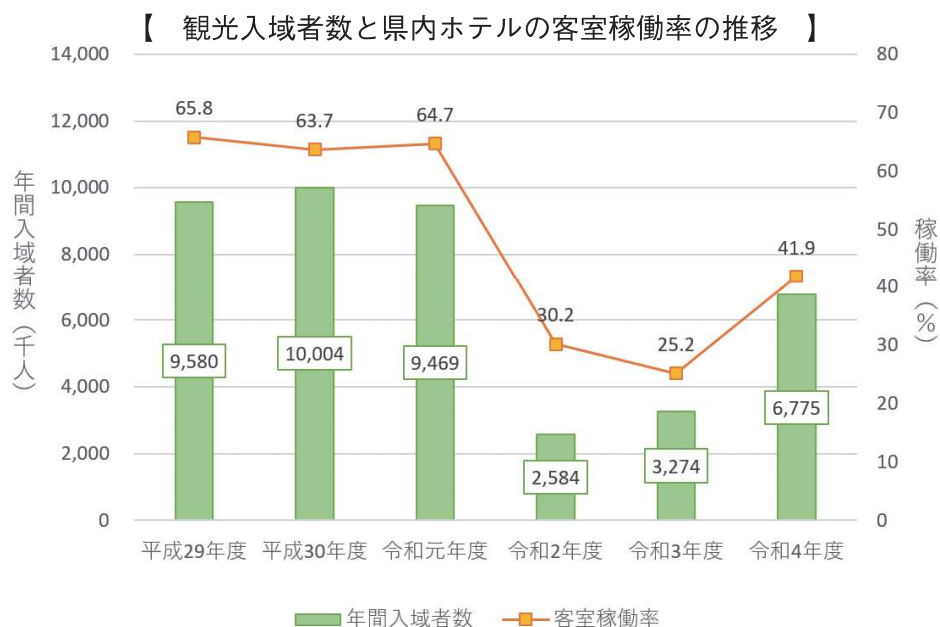


※学校給食における県産食材利用状況調査結果(流通・加工推進課)より作成

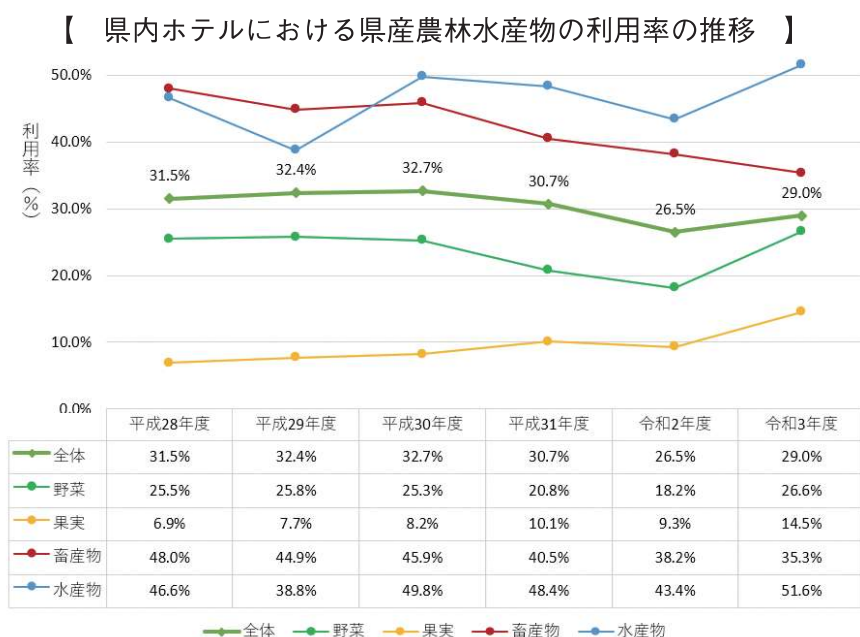
### (4) 観光関連の現状

本県への入域観光客数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、令和2年度は2,584千人とピーク時の4分の1程度まで減少しました。また、ホテルの客室稼働率も令和3年度には25.2%まで減少しました。令和4年度は、回復したものの、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に回復するには至っていない状況です。

県内ホテルにおける県産食材利用率は、近年30%近くで推移しています。令和3年度は野菜、果実、水産物で上昇している一方で、畜産物は下落傾向が続いています。



※沖縄県入域観光客統計概況(沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課)及び宿泊旅行統計調査(観光庁)より作成及び引用

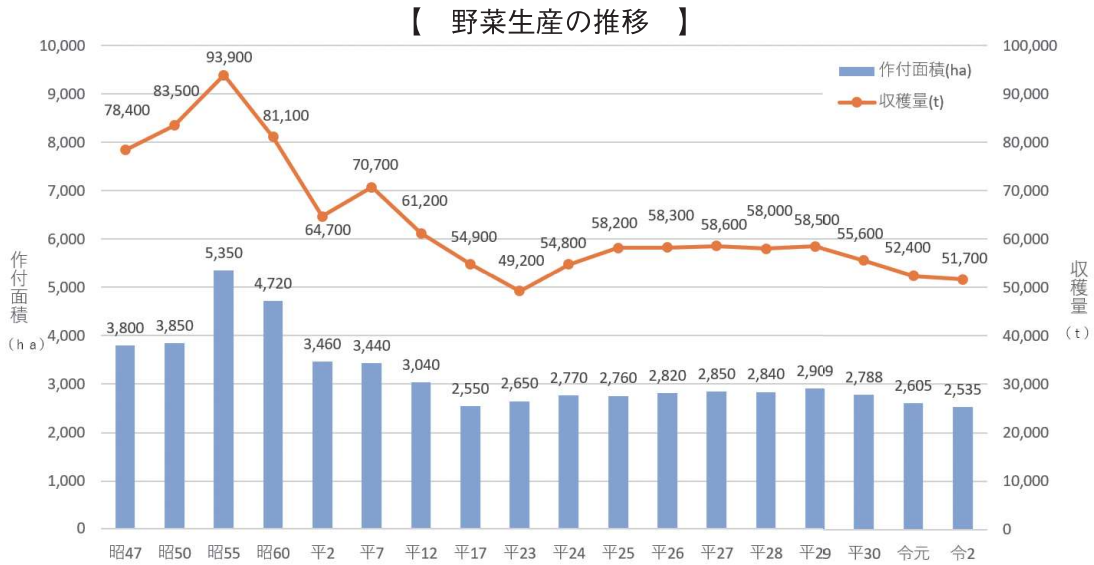


※県内ホテルにおける県産農林水産物利用状況調査(流通・加工推進課)より作成

## (5) 野菜の収穫量・家畜頭数・漁業生産量・きのこ類生産量の現状

### ① 野菜の収穫量

野菜の収穫量は、平成23年で底打ちし平成25年以降は平成29年まで横ばいで推移していましたが、令和2年では51,700トンまで減少しています。

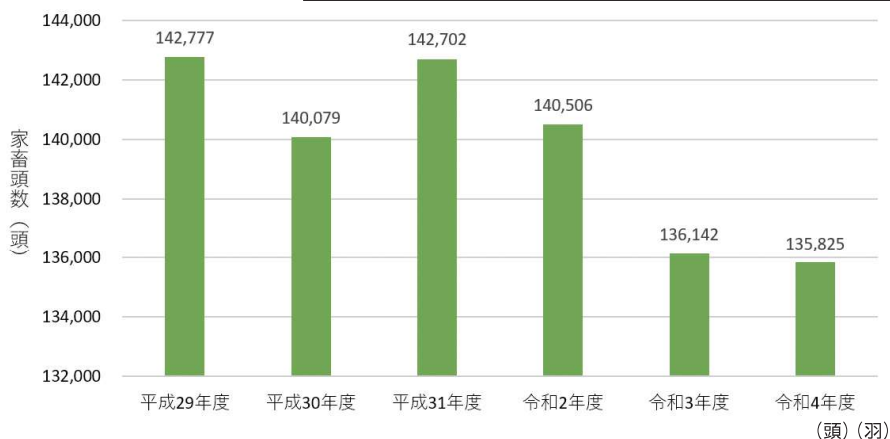


※沖縄県の農林水産業(令和5年3月)より引用

### ② 家畜頭数(家畜単位(※2)で換算)

平成31年度以降減少を続け、令和4年度は135,825頭となっています。

【 家畜頭数の推移 】 (※2) 牛は1頭、豚は5頭、鶏は100羽、山羊は10羽を「1家畜単位」として算出。



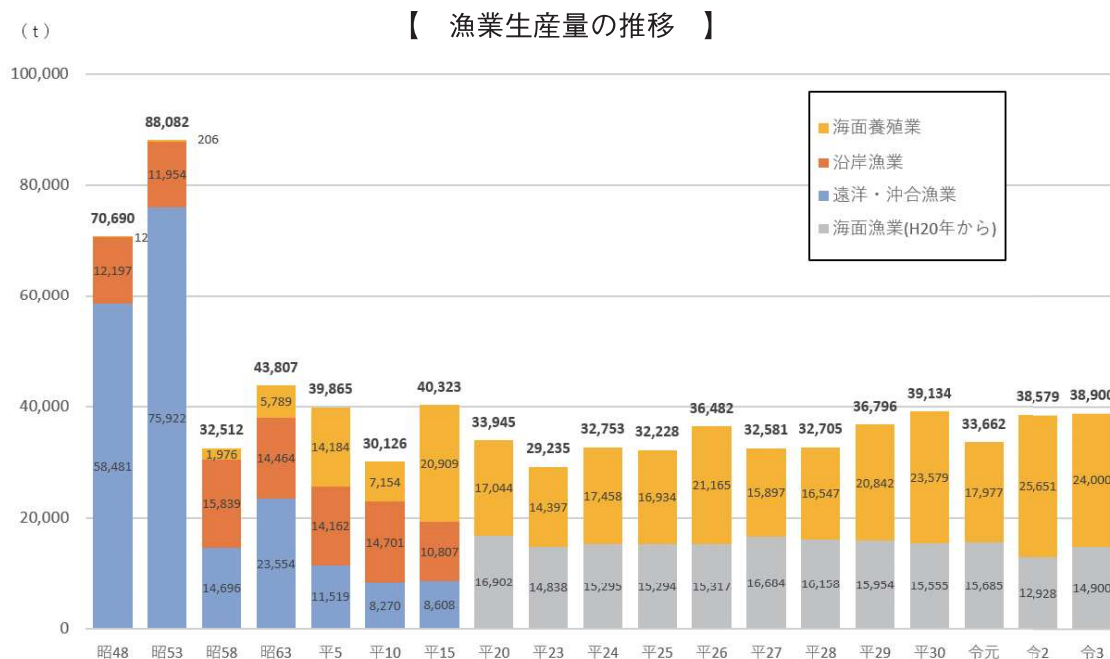
	H29	H30	H31	R2	R3	R4
肉用牛	73,134	73,836	73,783	74,257	73,126	73,298
乳用牛	4,348	4,241	4,252	4,231	4,074	3,773
豚	211,848	206,828	218,081	212,359	200,830	193,433
採卵鶏	1,577,000	1,369,045	1,386,547	1,375,027	1,377,869	1,257,615
ブロイラー	617,000	574,261	601,522	459,770	391,873	649,534
山羊	10,616	12,035	11,703	11,984	10,776	9,964

※「家畜・家さん等の飼養状況調査結果」(畜産課)より作成・引用

## 第2章 沖縄県における地産地消の現状

### ③ 漁業生産量

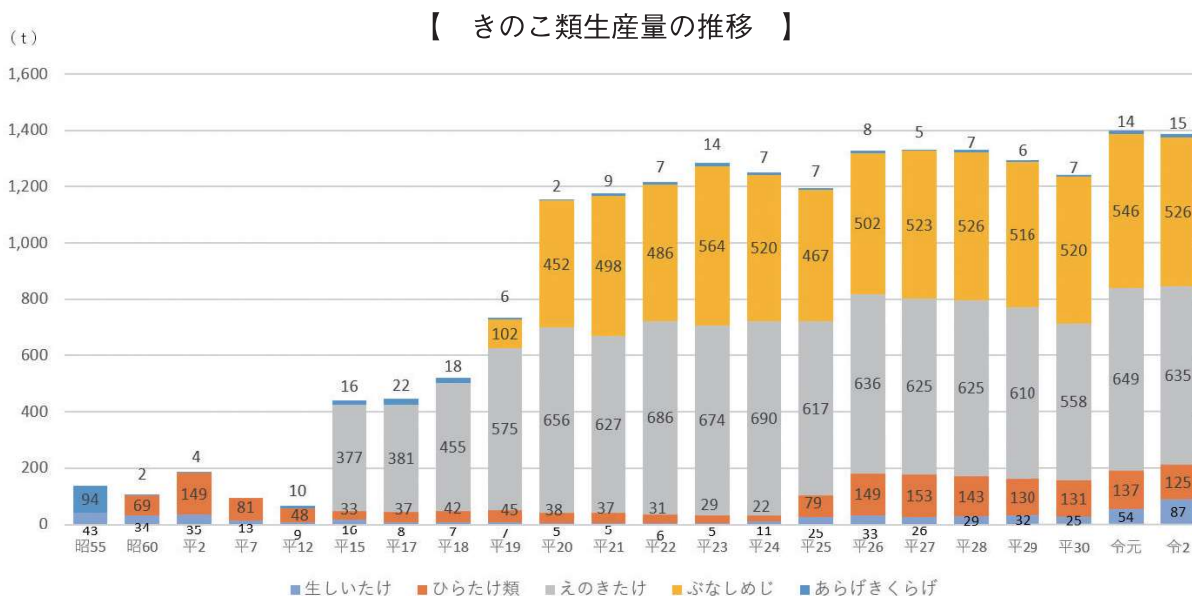
平成20年以降、海面漁業の生産量は横ばいですが、海面養殖業の増加に伴い、生産量は緩やかに増加しています。



※沖縄県の農林水産業(令和5年3月)より引用

### ④ きのご類生産量

平成14年以降、北部地域でえのきたけ、ぶなしめじ、エリンギ、菌床しいたけの生産施設が相次いで整備され、本県のきのご類の生産量は大きく増加しています。



※沖縄県の農林水産業(令和5年3月)より引用

## (6) 農業産出額及び漁業産出額の現状

平成23年に800億円に減少していた農業産出額については、肉用牛と野菜の増加により平成28年には1,025億円となりました。平成28年以降はさとうきびを除いて減少傾向にあり、令和2年では910億円となりました。

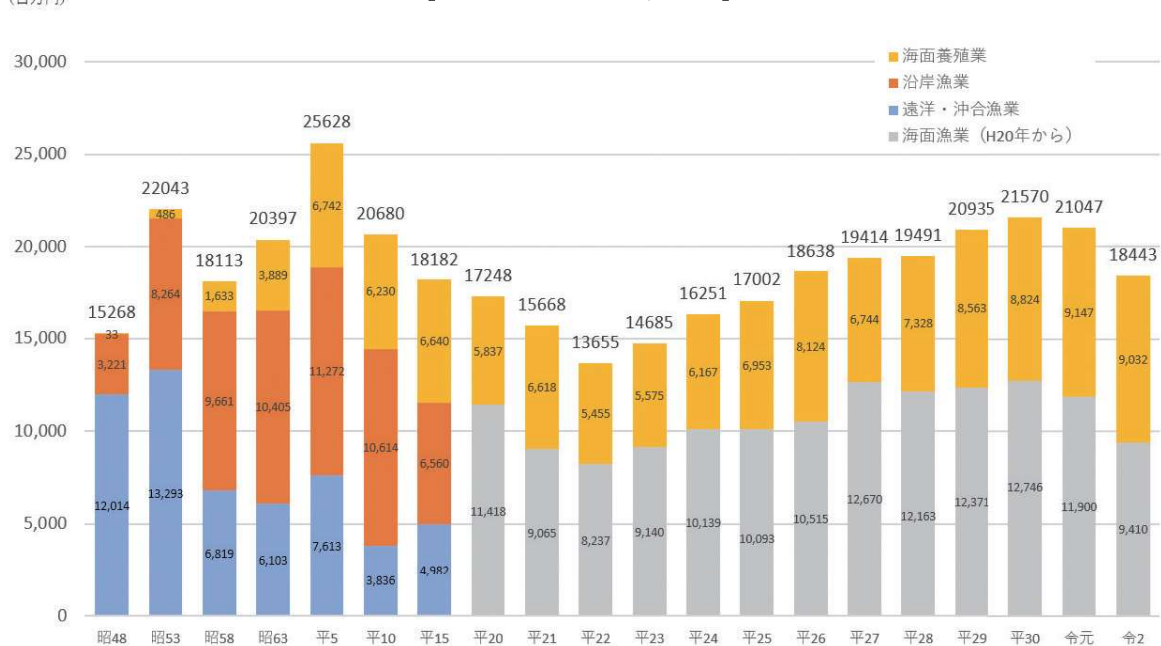
漁業産出額については、もずくをはじめとする海藻類の海面養殖業での産出額が増加しており下支えしていますが、海面漁業の産出額は平成30年以降、減少が続いており、令和2年産出額は18,443百万円となりました。

【 農業産出額の推移 】



※沖縄県の農林水産業(令和5年3月)より引用

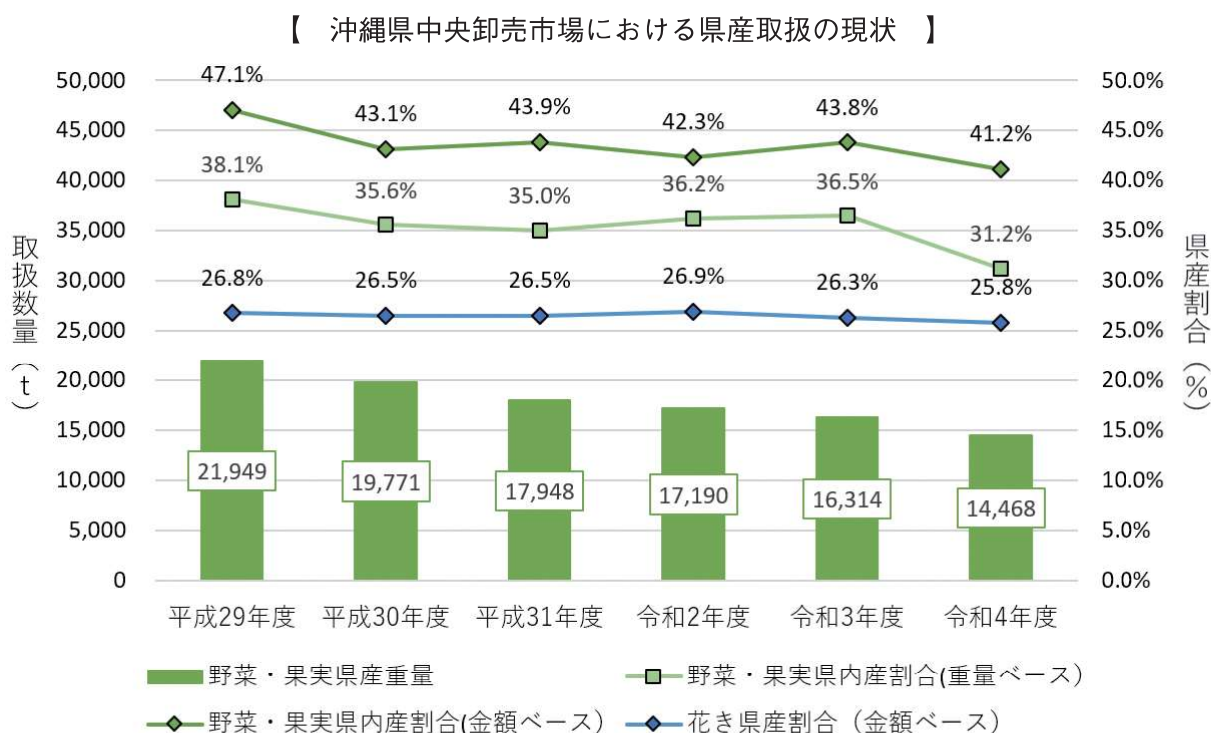
【 漁業産出額の推移 】



※沖縄県の農林水産業(令和5年3月)より引用

### (7) 卸売市場における県産農林水産物の取扱の現状

卸売市場における野菜・果物の県産取扱数量の減少に伴い県産割合（金額ベース）も減少しており、令和4年度においては取扱金額12,224,245千円のうち県産は5,032,269千円であり41.2%となっています。花きの県産割合（金額ベース）については平成29年度と比べほぼ横ばいで推移していますが、令和2年度以降緩やかに減少しており、令和4年度は取扱金額2,869,478千円のうち県産は741,091千円で25.8%となっています。



※沖縄県の農林水産業(令和5年3月)より引用



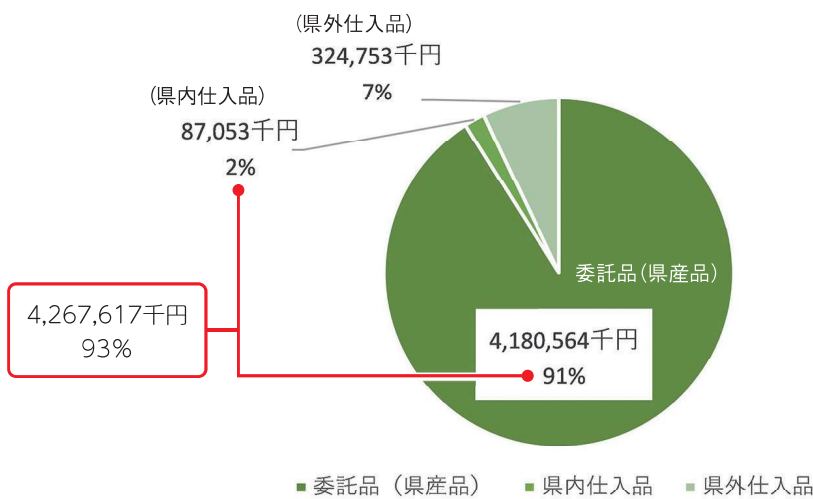
セリの様子▶



## (8) 県内農林水産物直売所の現状

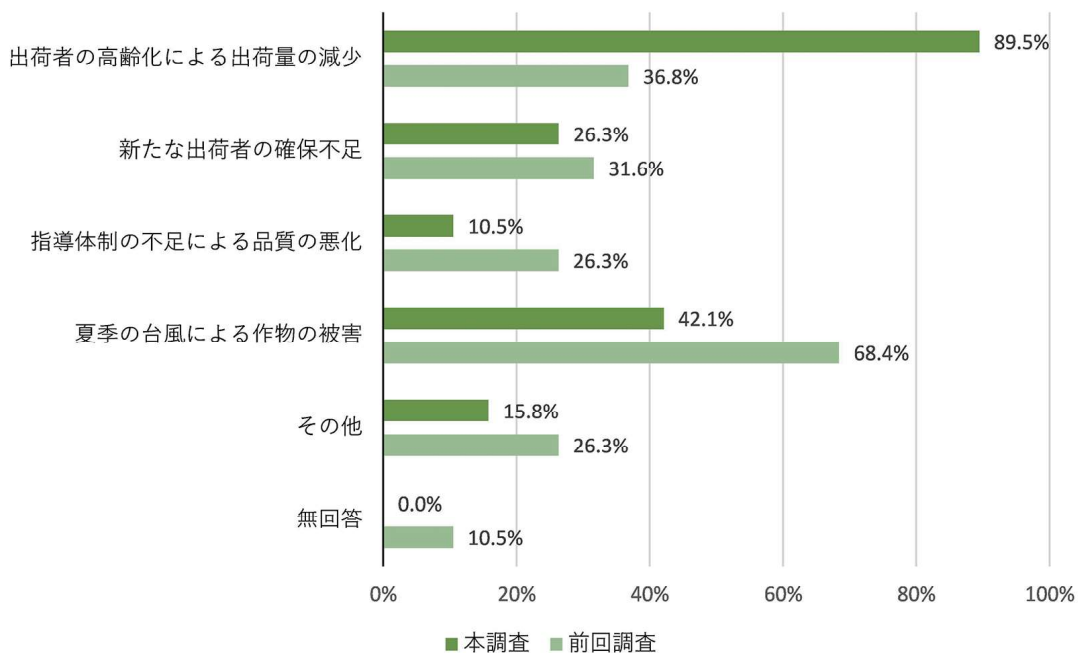
アンケート調査への回答があった県内19直売所の直近1年間（令和4年度）の年間販売実績4,592,370千円のうち、県産品の取扱（委託品＋仕入品）が4,267,617千円で93%となっており、前回調査（H30）の88.5%から4.5%増加しています。また、アンケートでは直売所が認識する売上向上に向けて現在抱えている課題について調査したところ「出荷者の高齢化による出荷量減少」を課題としてとらえている直売所が前回調査（平成30年）から大きく増加しました。

【 委託品及び仕入品の割合 】



▲直売所の一例

【 売上向上に向けて現在抱えている課題について 】



※県内直売所へのアンケート調査(令和5年8月実施)

## 第2章 沖縄県における地産地消の現状

### (9) 中食需要の現状

平成27年以降、沖縄県内の世帯における家計支出全体に占める食費全体が増加傾向にあり、特に惣菜やお弁当など調理食品（中食）の支出が増加傾向にあります。

一方、コロナ禍の影響で外食は令和2年で大きく減少したものの、令和3年以降は回復傾向にありますが、コロナ禍前の水準まで回復していないのが現状です。

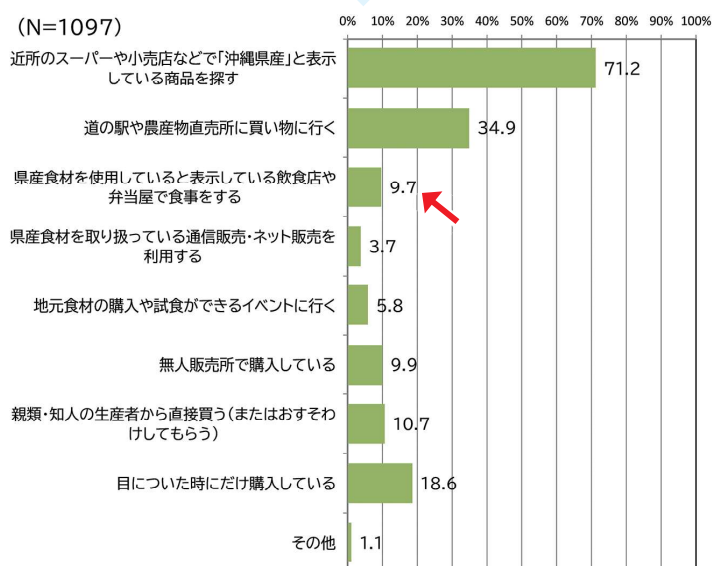
また、県民意識調査において沖縄県産の食材を食べたいときに、県産食材を使用していると表示している弁当屋や飲食店を利用したいと回答した県民の割合は9.7%と前回調査（5年前）の8.8%と比べて0.9%の伸びにとどまっています。

【 年間の家計支出(中食・外食)の推移 】



※沖縄県家計調査結果の概要(年平均)より作成・引用

Q あなたは、どのようなところで沖縄県産の食材を購入していますか (N=1097)



※地産地消に関する県民意識調査結果(令和5年9月調査)